

学校法人冲永学園 2023 年度事業報告書

1. 法人の概要 (2023 年 5 月 1 日現在)

(1) 設置する学校・学部・学科等と入学定員、学生数の状況

学校名・学部・専攻名	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
帝京短期大学（専攻科含む・通信教育課程除く）	495	203	1,070	471
生活科学科	170	74	340	151
生活科学専攻	70	46	140	107
食物栄養専攻	100	28	200	44
こども教育学科こども教育専攻	50	18	100	42
ライフケア学科	170	75	510	234
臨床検査専攻	80	32	240	118
柔道整復専攻	60	30	180	88
柔道整復専攻（二部）	30	13	90	28
専攻科こども教育学専攻	50	12	50	12
専攻科臨床工学専攻	40	20	40	26
専攻科養護教諭専攻	15	4	30	6
こども教育学科通信教育課程	100	9	400	70
帝京八王子高等学校	120	65	360	230
帝京八王子中学校	40	17	120	50
帝京めぐみ幼稚園	25	35	80	99
帝京にしき幼稚園	70	63	240	210

(注)通信教育課程の入学者数は前期入学者のみ。幼稚園の入園者数は3歳児のみ。

(2) 役員の概要

理事長：冲永 寛子、常務理事：冲永 佳史

理 事：勝 健一、渡邊 正光、内田 れい子

監 事：安西 信雄、三谷 章

(3) 教職員の概要

学校名	学長・校長・園長	所在地	教員数	職員数
帝京短期大学	冲永 寛子	東京都渋谷区本町 6-31-1	52	25
帝京八王子高等学校	木崎 右成	東京都八王子市上川町 3766	26	1
帝京八王子中学校	木崎 右成	東京都八王子市上川町 3766	5	1
帝京めぐみ幼稚園	溝口 綾子	東京都渋谷区本町 6-34-18	13	0
帝京にしき幼稚園	齊藤美代子	東京都品川区旗の台 6-5-30	17	0

2. 事業の概要

(1) 教育研究活動

ア. 帝京短期大学

(ア) 国家試験合格者数・合格率

ライフケア学科 2023 年度卒業生の国家試験合格者数・合格率は下記の通りである。補講、模擬試験の頻度を増やす等教員は学生指導に努めているが、柔道整復師国家試験は全国的にも合格率は低く厳しい結果となった。

<2023 年度卒業生>

	国家資格	合格者数	合格率	全国平均
臨床検査専攻	臨床検査技師	39 名	92.3%	88.0%
柔道整復専攻	柔道整復師	19 名	86.4%	66.4%
専攻科臨床工学専攻	臨床工学技士	20 名	100.0%	79.5%

(イ) 資格取得者数

2023 年度卒業生において、所定の単位を修得し目指していた資格を取得した学生数は下記の通りである(各専攻とも 9 月卒業生を含む)。

- ・生活科学科
生活科学専攻 養護教諭二種 23 名
食物栄養専攻 栄養士 15 名
- ・こども教育学科
こども教育専攻 幼稚園教諭二種 13 名
- ・専攻科こども教育学専攻 保育士 15 名
- ・こども教育学科通信教育課程 幼稚園教諭二種 6 名 保育士 11 名
(上記のうち 6 名が両方の資格を取得)
- ・専攻科養護教諭専攻 養護教諭一種 2 名

(ウ) 就職率

2023 年度卒業生の 2024 年 5 月 1 日現在の就職率は 97.6%(就職希望者数 124 名に対して内定者数 121 名)である。また、実就職率は 87.7%(進学者を除く卒業生数 138 名に対して内定者数 121 名)となった。就職率は前年度比▲0.7%、実就職率は前年度比+5.8%となった。

イ. 帝京八王子中学校・高等学校

コロナ禍の影響が残る 2023 年度の開始であったが、生徒の学習活動では、感染防止に努めながら対面授業を実施してきた。5 類感染症移行後も感染防止対策として、消毒洗浄、教室の換気のため網戸の設置を増やす等を行い、生徒が安心して登校し学習ができるよう、コロナウィルス感染拡大防止の設備拡充に努めた。

高校では 2022 年度よりスタートした本校独自の、特色ある新しい 4 つのコース（国際文化コース・言語文化コース・人文社会コース・科学探求コース）における最初の学年が 2 年次に進級。自らの希望コース別学習プログラムがスタートし、教科教育を通してだけでなく、自らの進路をより深く考えるための進路説明会や学習を実施した。

コンピュータ教育を進めるためにサイネットへ参加し、強化されたインターネット回線を使用して、オンラインによる英語学習も行った。文化祭では、総合的な探求（学習）の時間で作成した映像作品を体育館にて発表を行い、コンピュータ教室や体育館ほか、さまざまな既存の施設を有効に使用して学習を行ってきた。

海外への旅行行事もコロナ感染症の 5 類感染症移行に伴い、中学 3 年生および高校 2 年生の修学旅行もそれぞれ、英国、豪州へ実施し、本校の国際理解教育を進めた。

中高とも一新した制服や本校の特色あるカリキュラムをより広く知らしめるため、広報活動もインターネットによる映像での展開を強化した。オンラインによる学校説明会や Zoom による個別相談を実施、ツイッター、インスタグラムの公式アカウントによる情報発信を開始、本校ホームページや受験情報サイト等で、コロナ禍中の本校での取り組み・対応・教育が広く周知されるよう努めてきた。また、高校入試の出願方法等に改善を加え、出願者および入学者の増加へつなげた。

ウ. 帝京めぐみ幼稚園・帝京にしき幼稚園

両園とも感染防止に努めながらもコロナ禍以前の状況に近づけるよう工夫して保育活動の実施に努めた。5 類感染症移行後も消毒洗浄・教室の換気などこまめな感染対策を講じながら、夏の恒例イベントであるお泊り保育も再開。また、両園の園バスに自動置き去り防止装置を設置し、園児・保護者ともに安心・安全に過ごせる環境整備に尽力した。

帝京めぐみ幼稚園では動物介在教育を通じて、園児の心を育む保育を行っている。

帝京にしき幼稚園では園庭の遊具を更新し、園児の安全性を高めるとともに知育玩具を充実させ、豊かな感性を育てている。両園の取り組みには園児・保護者からも好評価を得ている。

(2) 施設設備等

帝京短期大学では、教育の DX(デジタルフォーメーション)化に対応するため継続して ICT 環境の構築に取り組んだ。2023 年度は、一部教室のみに導入していた学内無線 LAN の使用可能箇所(1～3号館)の拡大整備を行った。また教職員に対して、執務用メールと Microsoft365 導入時に付与されたメール(ID)の 2 つのメール基盤の統合を実施した。この整備により Web メールに一本化され、利便性の向上を図った。

この他に、学内に存在する各種システムや講義室の教室設備の耐用期限と優先度に応じた更新を引き続き検討する。

図書館については、2023 年度の来館者数は前年同水準(約 6 千人)であったものの、貸出書籍数は 3,575 冊(前同比+19%)と増加。図書館内に設置したラーニングcommonsや学習用 PC、タブレット端末の利用も活発に行われている。

特にラーニングcommonsは、授業・卒論指導・個人面談のみならず、学生同士の自主的なグループワークやプレゼン練習などにも利用されており、有用な活用が図られている。図書館 Web へのアクセス数も堅調に推移しており、引き続き学生の認知度も高め利用促進を図って参りたい。

3. 財務の概要（経年比較）

（1）資産の状況

（単位：百万円）

項 目	2021 年度	2022 年度	2023 年度
固定資産	35,651	35,635	35,844
流動資産	1,927	1,900	2,067
資産の部合計	37,578	37,535	37,911
固定負債	115	113	113
流動負債	380	295	278
基本金	36,385	36,344	36,337
翌年度繰越収支差額	698	783	1,184
負債及び純資産の部合計	37,578	37,535	37,911

（2）収支の状況

（単位：百万円）

項 目	2021 年度	2022 年度	2023 年度
資金収入総額	9,251	13,894	8,382
翌年度繰越支払資金	1,811	1,815	1,931
事業活動収入	2,236	1,896	2,240
事業活動支出	2,289	1,853	1,846
基本金組入額	△348	△13	△6
当年度収支差額	△401	30	387
翌年度繰越収支差額	698	783	1,184

以 上